

2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 2 月 3 日作成)

小委員会名	構造工学論文集編集小委員会	主 査 名：山田聖志 就任年月：2007 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会	委員長名：和田 章
設 置 期 間	2005 年 4 月 ～ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・ 1 編につき 3 名による査読付き論文集『構造工学論文集』を毎年 1 回刊行し、 登載論文を中心としたシンポジウムを開催することにより、産・官・学、各界 の研究者・技術者に学术交流・技術交流の場を提供し、構造工学の一層の発展 を図ることを目的にする。</p> <p>2008 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 査読付き論文集『構造工学論文集』Vol.55B の刊行 ・ 第 54 回構造工学シンポジウムの開催（論文集掲載論文の発表講演および討議、 特別講演会、建築・土木合同パネルディスカッション） 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無 ：無（構造工学にかかわるあらゆる分野が論文の対象となるため、各運営委員会主査 を委員に配するなどして、分野構成には特に考慮している）。	
	主査 山田 聖志（豊橋技術科学大学） 幹事 田村 修次（京都大学防災研究所） 坂田 弘安（東京工業大学） 委員 安達 俊夫（日本大学） 神田 順（東京大学） 勅使川原正臣（名古屋大学） 西山 峰広（京都大学攻） 福元 敏之（鹿島建設（株）技術研究所） 宮崎 祐助（広島工業大学） 和田 章（東京工業大学）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楠 浩一（横浜国立大学） ・ 多田 元英（大阪大学） ・ 大森 博司（名古屋大学） ・ 竹脇 出（京都大学） ・ 中島 正愛（京都大学防災研究所） ・ 平石 久廣（明治大学科） ・ 三浦 賢治（広島大学） ・ 宮澤 健二（工学院大学）
設置 WG (WG 名：目的)		
2008 年度予算	350,000 円	ホームページ公開の有無 ：有 委員会 HP アドレス ： http://news-sv.ajj.or.jp/kouzou/s11/

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	5 回（年度内計画を含む）
刊行物（シンポジウム資料 等は除く）	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 第 54 回構造工学シンポジウム 参加者数 420 名 『構造工学論文集 Vol.54B』 『第 54 回構造工学シンポジウム』 ①特別講演会「建築と橋梁における素材と構造デザイン」（参加者数 185 名） ②建築・土木合同パネルディスカッション「新素材による建設構造の新たな 発展の可能性」（参加者数 185 名）
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. すべて滞りなく達成した。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 主催者である日本学術会議土木工学・建築学委員会ならびに共催の土木学会 構造工学委員会・論文集編集小委員会と、論文集出版等の詳細について、今 後とも十分な事前調整が必要。 2. 建築分野の投稿論文題数が年々減少を続けていることに対する対策。